

(資料提供)

令和元年10月15日(火)
県民文化スポーツ部文化振興課
直通：225-1371
内線：3841、3855

「国立工芸館開館イベント」の開催について

国立工芸館開館まで1年を切った今年は、「国立工芸館開館イベント」として、金沢、加賀、能登の3会場において国立工芸館名品展を開催するほか、石川の工芸の歴史を巡る特別展を合わせて開催し、国立工芸館の移転と本県の工芸文化の魅力を発信します。

記

1 期間

令和元年11月1日(金)～令和2年2月11日(火・祝)

2 主な内容

(1) 国立工芸館名品展「漆・木・竹工芸のみかた」

東京国立近代美術館工芸館が所蔵する作品を紹介します。今年は、本県が全国に誇り、数多くの著名な作家を輩出してきた漆工を中心に、木工・竹工などの作品を含め、約50点を展示します。

会期：令和元年11月22日(金)～12月22日(日)

会場：石川県立美術館 第5展示室

(2) 時代で巡るいしかわの工芸展

「国立工芸館名品展」の開催期間に合わせて、「いしかわの工芸の歴史」を切り口とした展覧会を開催します。

①「古九谷と加賀蒔絵の至宝一百万石大名の自負」

世界的に注目度の高い「古九谷」と「加賀蒔絵」にスポットを当て、工芸史に残るような独自の様式を創出した藩主の高い美意識と、加賀藩の文化政策を再認識します。

会期：令和元年11月22日(金)～12月22日(日)

会場：石川県立美術館 第2展示室

②「珠洲古陶ーその歴史と美ー」

珠洲焼は耐久性に優れ装飾性の高さが際立つ中世陶器です。近年は復興され石川を代表する工芸品としても注目されています。珠洲焼資料館をはじめ各地に保管されている優品を一挙紹介します。

会 期：令和元年11月17日（日）～12月15日（日）

会 場：石川県立歴史博物館

（3） いしかわの工芸の歴史を巡る鑑賞ツアー

より深く工芸の歴史を理解していただくために、学芸員の解説付きで「東京国立近代美術館工芸館名品展」と「時代で巡るいしかわの工芸展」を巡る鑑賞ツアーを開催します。

日 時：令和元年11月30日（土）、12月1日（日） 各日13：00～

人 数：各回20名（当日先着順）

参加費：一般530円、大学生420円（団体料金）

（4） 加賀・能登地区での国立工芸館名品展

県立美術館で開催される国立工芸館名品展に加え、県内全域で国立工芸館の移転に向けた気運の盛り上げを図るため、加賀地区や能登地区においても、地元美術館と連携して展覧会を開催する。

①「絵付けの魅力」

東京国立近代美術館工芸館のコレクションのうち、九谷焼の最大の特徴であり、魅力となっている絵付けに着目し選抜した作品約40点を紹介。

会 期：令和元年11月1日（金）～12月15日（日）

会 場：石川県九谷焼美術館

②「人間国宝を中心に・陶磁器の美と技」

東京国立近代美術館工芸館所蔵の陶磁器作品の中から、重要無形文化財保持者（人間国宝）の名作約40点を展示し、その美と技を紹介。

会 期：令和元年12月14日（土）～令和2年2月11日（火・祝）

会 場：石川県七尾美術館

※その他のイベントにつきましては、添付のリーフレットをご参照願います。

Events in Tokyo
東京でのイベント

所蔵作品展「パッション20ー近代工芸史にみる「日本研究」の軌跡(仮称)」

2019年12月20日(金)～2020年3月8日(日) 10:00～17:00(入館は16:30まで)

会場／東京国立近代美術館工芸館

20のパッション(情熱)にふれながら、工芸100年の流れを探る試みです。たとえば平田郷陽の《桜梅の少将》。端正な風貌は見る人をゾクッとさせる魅力に満ちていて、技巧の高さもさることながら、そこには「作家としての信念」がありました。当時郷陽の作風は賛否両論。「信念」の語は、郷陽が批判に抗して世に放った矢だったのです。歴史の奥底にはこんな想いが潜んでいます。工芸館であなたのドキドキを探してみませんか?東京での工芸館の展示活動はこれが最後。お見逃しなく!

休館日／月曜日(月曜日が休日の場合は 翌 火曜日)、年末年始(12月28日～1月1日)

観覧料／一般250(200)円、大学生130(60)円 ()内は20名以上の団体料金、高校生以下及び18歳未満の方、65歳以上の方無料

■ 特別講演会

いしかわを代表する工芸作家に出品作品の解説のほか、石川県の工芸や石川県そのものの魅力について語っていただきます。

講師／(未定)

会場／東京国立近代美術館(未定)



現在の工芸館外観(国指定重要文化財 旧近衛師団司令部庁舎)

アクセス地図



移転作品

東京から、重要無形文化財保持者(人間国宝)や日本芸術院会員が制作した作品(約1,400点)をはじめ、現工芸館が所蔵する美術工芸作品約1,900点以上が石川県に移転します。日本の工芸の歴史を語るうえで欠かせない作品が移転し、所蔵作品展や企画展が開催されます。

[掲載作品は全て東京国立近代美術館蔵]



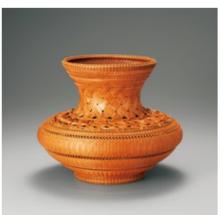
富本憲吉《色絵金銀彩羊歯文八角飾箱》1959年



佐々木象堂《蠟型銅置物 瑞鳥》1958年



稲垣穂次郎《結城紬地型絵染着物 竹林》1958年



飯塚環斎《花籃 宝殿》1948年頃

入館料割引実施! 11/22(金)～12/15(日)

対象施設の観覧券の半券を提示すると、対象施設の入館料が団体割引になります。
対象施設:石川県立美術館、石川県立歴史博物館、石川県立伝統産業工芸館、金沢市立中村記念美術館
有効期限:鑑賞当日のみ有効(12/5木・12/6木は石川県立伝統産業工芸館 休館)



イベントスケジュール

◆ イベント一覧

11/1(金)	ギャラリートーク	9:30～10:30	石川県九谷焼美術館	12/7(土)	スペシャル対談	13:30～15:00	石川県九谷焼美術館
9(土)	ギャラリートーク	14:00～15:00	金沢市立中村記念美術館		土曜講座「古丸谷と加賀蒔絵」	13:30～15:00	石川県立美術館
10(日)	金沢・世界工芸フォーラムクロストーク	13:30～	金沢21世紀美術館		0才からのファミリー鑑賞会	14:00～	石川県立美術館
17(日)	講演会「王朝の美・秋草文藝の世界」	13:30～15:00	石川県立歴史博物館		ギャラリートーク	14:00～15:00	金沢市立中村記念美術館
22(金)	ギャラリートーク	10:00～11:00	石川県立美術館	8(日)	講演会&ミュージアムコンサート	13:30～15:00	国立工芸館(石川県金沢市)
23(土)	国立工芸館建物見学ツアー(～12.2月)	11:00～13:00(24日は16:00まで)	国立工芸館(石川県金沢市)	15(日)	ギャラリートーク	13:30～14:30	石川県九谷焼美術館
	いしかわの工芸と食マルシェ(～11.24日)	10:00～17:00(24日は16:00まで)	本多の森公園	22(日)	ギャラリートーク	11:00～12:00	石川県立美術館
24(日)	伝統工芸ワークショップ	9:00～12:00 13:00～16:00	石川県立伝統産業工芸館	22(日)	ギャラリートーク	11:00～12:00	石川県立美術館
30(土)	いしかわの工芸の歴史を巡る鑑賞ツアー(～12.1日)	13:00～15:30	石川県立歴史博物館 石川県立美術館	1/19(日)	スペシャルアーティストトーク	14:00～15:00	石川県七尾美術館
	ギャラリートーク	14:00～15:00	金沢市立中村記念美術館	2/11(火・祝)	ギャラリートーク	14:00～14:40	石川県七尾美術館

◆ 展覧会一覧

石川県立美術館	東京国立近代美術館工芸館名品展「漆・木・竹工芸のみかた」 時代で巡るいしかわの工芸展「古丸谷と加賀蒔絵の至宝-百万石大名の自負」	11/22(金)～12/22(日)
石川県立歴史博物館	時代で巡るいしかわの工芸展「珠洲古陶-その歴史と美-」	11/17(日)～12/15(日)
石川県九谷焼美術館	東京国立近代美術館工芸館移転連携事業「絵付けの魅力」	11/ 1(金)～12/15(日)
石川県七尾美術館	東京国立近代美術館工芸館移転連携事業「人間国宝を中心に・陶磁器の美と技」	12/14(土)～ 2/11(火・祝)
金沢市立中村記念美術館	関連事業「京都の工芸 近代から現代まで～京都国立近代美術館所蔵品を中心に～」	11/ 1(金)～12/15(日)
石川四高記念文化交流館	関連事業「文学と工芸2019」	10/10(木)～12/28(土)
東京国立近代美術館工芸館	所蔵作品展「パッション20ー近代工芸史にみる「日本研究」の軌跡(仮称)」	12/20(金)～ 3/ 8(日)

兼六園周辺文化の森



※無料の文化施設共用駐車場がありますので、県立美術館・いしかわ赤レンガミュージアム・県立能楽堂・県立伝統産業工芸館にお越しの方はご利用ください。

お問い合わせ

「東京国立近代美術館工芸館名品展」等実行委員会(石川県文化振興課)
〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地 TEL. 076-225-1371 FAX. 076-225-1496(平日9:00～17:00)



国立工芸館開館イベント

2019 11 / 1 金
2020 2 / 11 火・祝

国立工芸館*開館に先立ち、
工芸館の名品を展示する展覧会、
石川の工芸の歴史を巡る特別展、
建物見学ツアーなどを開催!
国立工芸館が移転する兼六園周辺文化の森で
“工芸”を楽しもう!



石川県立歴史博物館
でのイベント
■ 時代で巡るいしかわの工芸展
「珠洲古陶-その歴史と美-」
11/17(日)～12/15(日)

いしかわの工芸と食マルシェ
11/23(土)・24(日)

石川県立美術館でのイベント
■ 東京国立近代美術館工芸館名品展
11/22(金)～12/22(日)
■ 時代で巡るいしかわの工芸展
「古丸谷と加賀蒔絵の至宝-
百万石大名の自負」
11/22(金)～12/22(日)

加賀市や七尾市でも
工芸館の
名品に会える!

国立工芸館の移転について

国立工芸館が、来年夏に東京から石川県金沢市に移転・開館します。国立工芸館は、日本で唯一の工芸を専門とする国立美術館であり、石川県への移転により、日本海側初の国立美術館が誕生します。新しい建物は、国登録有形文化財である旧陸軍の第九師団司令部庁舎と金沢偕行社を移築・活用し、10月末に完成予定です。*「国立工芸館」は、東京国立近代美術館工芸館が石川県移転後の通称として使用します。

完成予想図



Events in Kanazawa

金沢でのイベント

東京国立近代美術館工芸館名品展「漆・木・竹工芸のみかた」

いしかわの
工芸の歴史を巡る
鑑賞ツアー

2019年11月22日(金)～12月22日(日)

9:30～18:00(入館は17:30まで)
会場/石川県立美術館 第5展示室

東京国立近代美術館工芸館が所蔵する作品を紹介します。今年は、本県が全国に誇り、数多くの著名な作家を輩出してきた漆工をはじめ、木工・竹工作品を含む、約50点を展示します。

休館日/会期中無休 観覧料/一般370(290)円、大学生290(230)円
()内は20名以上の団体料金、高校生以下無料



田口善国《日触蒔絵箱》1963年
東京国立近代美術館蔵

■講演会&ミュージアムコンサート 「昭和・平成に活躍した漆芸家」 要申込・参加無料

2019年12月8日(日) 13:30～15:00

講師/増村紀一郎氏
(重要無形文化財「髹漆」保持者・東京藝術大学名誉教授)
会場/国立工芸館 多目的室(石川県金沢市)

完成した国立工芸館の中で、人間国宝である増村紀一郎氏の講演と漆塗りの楽器による弦楽四重奏が楽しめるスペシャルイベントです。定員/60名(応募者多数の場合は抽選)

応募方法/往復はがき住所・氏名・電話番号・応募人数を記載して下記まで(はがき1通につき2名まで応募可)

〒920-8580(住所不要)石川県文化振興課「プレイベント」係にて
締切/11月22日(金)必着

■ギャラリートーク 申込不要・要観覧券

11月22日(金) 10:00～11:00
唐澤昌宏(東京国立近代美術館工芸課長)

12月22日(日) 11:00～12:00
成田暢(東京国立近代美術館工芸課特定研究員)

時代で巡るいしかわの工芸展

◆「古九谷と加賀蒔絵の至宝-百万石大名の自負」

2019年11月22日(金)～12月22日(日) 9:30～18:00(入館は17:30まで)

会場/石川県立美術館 第2展示室

世界的に注目度が高い「古九谷」と「加賀蒔絵」にスポットを当て、工芸史に残るような独自の様式を創出した藩主の高い美意識と、加賀藩の文化政策を再認識します。

休館日/会期中無休 観覧料/一般370(290)円、大学生290(230)円 ()内は20名以上の団体料金、高校生以下無料

■土曜講座「古九谷と加賀蒔絵」 申込不要・参加無料

2019年12月7日(土) 13:30～15:00 村瀬博春(石川県立美術館担当課長)

会場/石川県立美術館 講義室

◆「珠洲古陶-その歴史と美」

2019年11月17日(日)～12月15日(日) 9:00～17:00(入館は16:30まで)

会場/石川県立歴史博物館

珠洲焼は耐久性に優れ装飾性の高さが際立つ中世陶器です。近年は復興され石川を代表する工芸品としても注目されています。珠洲焼資料館をはじめ各地に保管されている優品を一挙紹介します。

休館日/会期中無休 観覧料/一般300(240)円、大学生240(190)円 ()内は20名以上の団体料金、高校生以下無料

■講演会「王朝の美・秋草文壺の世界」 申込不要・参加無料

2019年11月17日(日) 13:30～15:00 吉岡康暢氏(国立歴史民俗博物館名誉教授)

会場/石川県立歴史博物館 ワークショップルーム

いしかわの
工芸の歴史を巡る
鑑賞ツアー

2019年11月30日(土)・12月1日(日) いずれも13:00～ 申込不要・当日先着順

集合場所/石川県立歴史博物館 ワークショップルーム(ツアー開始10分前までにお集まりください)

より深く工芸の歴史を理解していただくために、学芸員の解説付きで「東京国立近代美術館工芸館名品展」と、「時代で巡るいしかわの工芸展」を巡る鑑賞ツアーを開催します。

会場/石川県立美術館、石川県立歴史博物館 参加費/一般530円 大学生420円(団体料金)
人数/各回20名(先着順)

国立工芸館建物見学ツアー

2019年11月23日(土)～12月2日(月) 要申込・参加無料

1日3回(11:00～、13:00～、15:00～) ※所要時間約1時間
会場/国立工芸館(石川県金沢市)

来年夏の開館に先立ち、国立工芸館の建物内部を紹介します。バーチャルリアリティ(VR)映像による人間国宝等の作品解説も行います。

参加人数/約1,000名(30～40名/回)(抽選) 申込方法/メール、FAX、はがき
申込内容/①代表者の氏名、年齢、電話番号、住所 ②申込者全員の氏名、年齢
③参加希望日時(第1～3希望(第3希望は平日のみ))

申込先/国立工芸館建物見学ツアー事務局

〒920-0919 金沢市南町2-1(株KCS内)
TEL/076-262-2611(平日のみ10:00～18:00) FAX/076-262-2618
MAIL/kougeikan@kcs-inc.jp

締切/10月31日(木)必着(消印有効)



ケヤキ造りの重厚な階段
(移築前の旧第九師団司令部庁舎)



松田権六《蒔絵竹林文箱》1965年
(東京国立近代美術館蔵)

いしかわの工芸と食マルシェ

2019年11月23日(土)・24日(日)

10:00～17:00(24日は16:00に終了)

会場/本多の森公園内(国立工芸館前の広場)

藩政期以来培われてきた本県の伝統工芸や食文化をテーマにしたイベントを開催します。

内容/石川の食を味わえるブース、工芸品を使用した茶会や地酒の試飲会、工芸体験など



関連事業「京都の工芸 近代から現代まで～京都国立近代美術館所蔵品を中心に～」

2019年11月1日(金)～12月15日(日) 9:30～17:00(入館は16:30まで)

会場/金沢市立中村記念美術館

京都と金沢における人と技術の交流をあらわす作品と、京都国立近代美術館所蔵の陶芸・漆芸・金工・染織作品の展示をとおり、京の土壌で培われた多彩な京都の工芸の世界を紹介します。

休館日/会期中無休

観覧料/一般310(260)円、65歳以上210円 ()内は20名以上の団体料金、高校生以下無料

■ギャラリートーク 申込不要・要観覧券

11月 9日(土) 14:00～15:00 金沢市立中村記念美術館学芸員

11月30日(土) 14:00～15:00 大長賢広氏(京都国立近代美術館研究員)

12月 7日(土) 14:00～15:00 金沢市立中村記念美術館学芸員

河井寛次郎

《辰砂丸紋 四方壺》
1938年頃
京都国立近代美術館蔵



関連事業「金沢・世界工芸フォーラム-クロストーク」

2019年11月10日(日) 13:30～ 要申込・参加無料

会場/金沢21世紀美術館 シアター21

講師/金子賢治氏(茨城県陶芸美術館長)

(予定) 中川衛氏(金工作家、重要無形文化財「彫金」保持者)

島敦彦氏(金沢21世紀美術館長)

十一代大槌長左衛門氏(陶芸家、国際陶芸アカデミー(IAC)会員)

第4回金沢・世界工芸トリエンナーレにあわせ、時代とともに変化する工芸について、様々な視点で語っていただきます。

定員/100名 申込方法/下記連絡先までお問い合わせください

連絡/金沢・世界工芸トリエンナーレ開催委員会 事務局

MAIL/contact@kanazawa-kogei-triennale.com

■「第4回 金沢・世界工芸トリエンナーレ」

2019年11月10日(日)～11月21日(木) 10:00～18:00

会場/金沢21世紀美術館 市民ギャラリーA・B 休館日/会期中無休 観覧料/無料

関連事業「文学と工芸2019」

2019年10月10日(木)～12月28日(土)

9:00～17:00(入館は16:30まで)

会場/石川四高記念文化交流館(石川近代文学館)

石川ゆかりの作家が書いた工芸を題材とした作品の紹介や、愛用していた工芸品を展示します。

休館日/会期中無休

観覧料/一般370(290)円、大学生290(230)円

()内は20名以上の団体料金、高校生以下無料



永瀬清子遺品宝石箱 石川近代文学館蔵

Events in Kaga and Nanao

加賀・七尾でのイベント

東京国立近代美術館工芸館移転連携事業「絵付けの魅力」

2019年11月1日(金)～12月15日(日)

9:00～17:00(入館は16:30まで)

会場/石川県九谷焼美術館

東京国立近代美術館工芸館のコレクションのうち、九谷焼の最大の特徴であり、魅力となっている絵付けに着目し選抜した作品40点を紹介。

休館日/月曜日(ただし11月4日は開館)

観覧料/一般560(460)円、高齢者(75歳以上)280円

()内は20名以上の団体料金、高校生以下無料 ※11月3日は無料観覧日



富本憲吉《色絵金銀彩羊歯文六角小箱》
1961年 東京国立近代美術館蔵



■スペシャル対談 申込不要・参加無料

2019年12月7日(土) 13:30～15:00

講師/武腰潤(石川県九谷焼美術館長・陶芸家)

唐澤昌宏(東京国立近代美術館工芸課長)

武腰館長と唐澤工芸課長による「絵付けの魅力」に関する対談会を開催します。陶芸家でもある武腰館長の作品制作についてもお話いただけます。

会場/石川県九谷焼美術館 ホール 定員/60名(先着順)

■ギャラリートーク 申込不要・要観覧券

11月 1日(金) 9:30～10:30 唐澤昌宏(東京国立近代美術館工芸課長)

12月15日(日) 13:30～14:30 成田暢
(東京国立近代美術館工芸課特定研究員)



石川県九谷焼美術館長
武腰潤



東京国立近代美術館工芸課長
唐澤昌宏

東京国立近代美術館工芸館移転連携事業「人間国宝を中心に・陶磁器の美と技」

2019年12月14日(土)～2020年2月11日(火・祝)

9:00～17:00(入館は16:30まで)

会場/石川県七尾美術館

東京国立近代美術館工芸館所蔵の陶磁器作品の中から、重要無形文化財保持者(人間国宝)の名作約40点を展示し、その美と技を紹介。

休館日/月曜日(祝日の場合は翌火曜日)、年末年始(12月29日～1月3日)

観覧料/一般500(400)円、大生350(300)円

()内は20名以上の団体料金、中学生以下無料

※祝日は70歳以上の方団体料金

■スペシャルアーティストトーク 申込不要・要観覧券

2020年1月19日(日) 14:00～15:00

講師/吉田美統氏(重要無形文化財「釉裏金彩」保持者)

十四代今泉今右衛門氏(重要無形文化財「色絵磁器」保持者)

司会/唐澤昌宏(東京国立近代美術館工芸課長)

出品作家である吉田氏と、出品作家の十三代今泉今右衛門氏を父にもつ今泉氏に展示作品についてお話いただけます。

会場/石川県七尾美術館 第2展示室

■ギャラリートーク 申込不要・要観覧券

2月11日(火・祝) 14:00～14:40 成田暢(東京国立近代美術館工芸課特定研究員)



荒川豊蔵《色絵雲錦鉢》1971年
東京国立近代美術館蔵



重要無形文化財
「釉裏金彩」保持者
吉田美統 氏



重要無形文化財
「色絵磁器」保持者
十四代今泉今右衛門 氏